

■ 家庭学習の進め方 & 勉強の進め方 (中3) ■ (保存版)

★「塾で勉強しているから、大丈夫！」ではない！！ 家でもしっかりやるから塾に来ている意味がある！！
☆ちゃんと結果を出すためには、家庭学習や塾の宿題もしっかりやるのが大切です！(^^)！

【普段の学習について】

提出ノート (必ず毎日提出しましょう。提出ノートは「できたらやる」ものではなく「必ずやらなければいけないもの」です。)

※学校から内容が指定されている場合は、それに従って下さい。 ※塾の宿題を提出ノートにやってもOKです！

国語(白文帳) 1ページにかける時間の目安: 15分~20分

- 白文帳の目的→「書けるようにする・読めるようにする」ことが目的！「練習することが目的ではない」です。
- 練習するときには気を付けること→トメ・ハネ・ハラヒを意識して練習しましょう。練習で気を付けていなければ、テストで出題されたときに「あれ、これで大丈夫だっけ？」と不安になってしまいます。また、読み方もちゃんと書いておきましょう。
- 意味のわからない漢字は？→必ず辞書で意味を調べて白文帳の余白に書いておきましょう(語彙力がつくと、読解力にもつながります)。
- 覚えるためには工夫をしましょう。→どの程度覚えたか最後にテストしましょう。

数学(1ページノート) 1ページにかける時間の目安: 20分~30分

- 1ページノートの目的→数学は、「ルールがわかっても使えなければ意味がない」です。正しく使えるようにするには、とにかく練習するしかありません。「ルールは分かったから大丈夫」と思うってしまうのが一番危険です。毎日練習をして、正しく使えるようにすることが目的です。
- 注意点→数学は、問題を解くことが基本になりますが間違えた問題は「やり直し」まで頑張りましょう(やりっぱなしでは意味がありません…)。そのためには、答え合わせもすぐにやること(どの科目もそうですが)。
- 内容→今学校で習っている内容+中1・中2の復習をいれること。
 - ・数学が得意な人: 基本少し、応用多めのバランスで(基本も確認することがポイント)。
 - ・数学が苦手な人: 基本問題をとにかくしっかり！特に計算の練習は毎日20問くらいずつ必ずやる！

英語(1ページノート) 1ページにかける時間の目安: 20分~30分

- 1ページノートの目的→まずは、教科書の単語や英文を覚えるためにノートに練習することが目的になります。単語や英文が頭に入ってから文法の練習も取り入れましょう。
- 内容→教科書の単語練習・本文の書きとり・日本語訳を繰り返しましょう。また、まずは音読をしてみると◎！
☆教科書内容の書き取りは、最低5回は繰り返すこと。また、日本語訳できるようにしておくことを忘れがちなので、注意。
 - ・英語が得意な人: 中3内容の書き取り&文法練習(1・2年の分も)&教科書以外の長文読解
 - ・英語が苦手な人: 中1、中2の教科書も復習しましょう(むしろ復習優先でもOK)。必ず日本語訳をいれること。
- 注意点 →単語はもちろん覚えなければいけません、英文もそのまま覚えてしまうようにしましょう。

☆提出ノートは「1日1ページしかやってはいけない」という決まりはないはず…もしできるなら2ページ以上やって提出してもOK!ですが、とにかく毎日ちゃんと出すことが大事です！こつこつ頑張っている人は評価される！

【テスト勉強について】

★テスト勉強っていつからはじめるの??

→中3生は、「テスト前だから頑張る」という考えは捨てましょう。テストが近かろうが終わったばかりだろうが勉強しなければいけません。中3生がしているのは「テスト勉強」ではなく「受験勉強」です。受験のための勉強なので、受験まで毎日頑張りましょう(普段から頑張っているけれど、テストが近いからさらに頑張る、という考えは◎)。

★テスト勉強ってどのくらいの時間やればいいのか??★

→時期によって目安は変わってきます。

- ・(春~7月) 平日2.5時間、休日4時間以上
- ・(夏休み~10月) 平日3時間、休日6時間以上
- ・(11月12月) 平日3時間以上、休日8時間以上
- ・(1月以降) 平日4時間以上、休日10時間

全く学習習慣がついていない人がいきなり8時間勉強しようとしてもできません(もしくは数日やって続かない)。徐々に増やしていければOKです。

★受験勉強って何をやればいいのか??★ →p.3&p.4の「学習のポイント」参照

★分からない問題があったとき

- ①考えてみる ②答えを見てみる ③そのまま覚える、または、なぜそうなるか考えてみる
④納得できないときは飛ばして次へ進む（分からなかった問題は塾に持ってくる）

※分からないから集中できなくなる、やる気がなくなるは×。

★自分で「本当に分かったのかな?」「できるようになったのかな?」「覚えたのかな?」をテストしながら進めましょう。
(時間をかけても「ただやるだけ」では意味がありません)

★集中できないとき

「テレビが気になって集中できない…」→絶対に見たいテレビ番組は見てOK。ただしそれ以外は我慢する。
テレビを好きなだけ見て、行きたい高校に行けないなんてばかばかしいと思いませんか??

「スマホとか iPod とかいじっちゃう…」→親御さんにあずかってもらいましょう。勉強するのに必要ないですよ。あずけるのに抵抗がある場合は「絶対に勉強中は触らない!」という強い意志が必要ですが、できますか??

「兄弟がうるさくて集中できない…」→家族会議を開いて、協力を求めましょう。もしくは耳栓を用意しましょう。また、各教室で自習もできます。希望があったら連絡をください。

「やる気が出ない…」→受験生に極端なやる気は必要ありません。大事なものは「やって当たり前」になることです。もちろん、やる気が出て、ずっとそれが持続すれば一番いいです。ただ、「数日間だけやる気がでたからがんばった。」では意味がありません。

受験生は、合格するために毎日「勉強して当たり前」ですよ。

☆塾の宿題について☆

塾からは毎回宿題がでますよね。「毎日学校の提出ノートもやらなければいけないし、それ以外の勉強もしなければいけない…なんとなくわかったし、塾の宿題は後回しでいいや…」となってしまふ人が毎年います(ー)塾では、担当の先生が今のあなたの状況を踏まえて「ここをやれば確実に力になる(点数につながりやすくなる)」というところを出しています。それを後回しにすると、なかなか力が付きません(点数が上がりにくいです)。できるようになるためには「分かった」だけでは足りません。家でもたくさん練習して「自分でできた!」となるまで頑張る必要があります。

「このくらいでいいや」と甘えるか、「ちゃんと頑張らなきゃ」と厳しくなるかで結果はまったく違ってきます。

あなたは どうしますか??

☆志望校や目標点について☆

中3生は、受験に向けて勉強しています。なので、基本的には志望校があると思います。また、テスト前には目標点を設定していると思います。

さて、「目標」って何でしょう? 目標の点数、目標の高校…何のために目標を定めているのでしょうか?

「取りたいな、という点数が目標点」「行きたいな、という高校が志望校」ですが、実はそれだけではありません。

目標とは「そこに向かってどう努力していけばいいのかを考え、実行する」ために設定するものです。「〇点とりたいな、△△高校に入りたいな」だけで終わるのであれば意味がないです。「行きたい高校がある」「取りたい点数がある」なら、実現するためになにをすべきなのか、考えましょう。考えたら実際に行動しましょう。

「〇点とりたいな、△△高校に入りたいな」思うだけで実現できるなら、だれも努力しませんよね。

☆勉強時間について☆

表面で、勉強時間の目安を書きましたが、「そんなにできない…」と感じる人もいますか? と思います。

大丈夫です!! はじめはみんな「そんなにできない」と言います。ですが、「やる」と決めた人はできるようになっています。

ただ、意識しながら勉強時間を増やしていく必要があります。特に最初はなかなか大変だと思いますが、習慣にすれば平気になります。

例えば、1学期中は部活動も忙しいと思いますが、「部活があるからできない」と言っていると人は、いつまでたっても本気を出せません。おそらく、「部活が忙しいから」と勉強を後回しにする人は、部活を引退したら「今まで部活頑張ってきて、遊ぶ時間がなかったから」と夏休みも勉強しません。そして今度は「最後の文化祭の準備があるから」と、やらないまま気づくと2学期も終盤に…。そして、12月の学校の懇談会で「今のままだと…」という話をされて「ちゃんとやっておけばよかった…」と後悔します。残念ですが、毎年そんな風に後悔する人はいます。

勉強以外にやるべきことがあるのは当たり前です。その中で、どうやれば時間が取れるのか考えて実行すればいいのではないのでしょうか。やる人は、忙しい中でも時間を見つけて(作って)少しずつでもやっていくようにしています。

…後悔したくないですよ? 私はあなたに後悔してほしくないです。

ウチの卒業生で、入試後の感想を書いてもらったとき「勉強は“やる気”ではなく“習慣”」と書いてくれた生徒がいます。まさにその通りです。まずは、習慣にできるようにやってみましょう!

【学習のポイント】

★せっかく勉強するなら、「ただ机に向かうだけ」にならないよう、以下の点に注意して勉強しよう！！

【5科目共通】

- 時間で区切らず（1時間頑張ろうとか）、内容で区切ろう！（〇ページまでがんばったら休憩、とか）
- 問題を解いたらすぐに答え合わせ（放置しない）！！答え合わせをした後、どうするかが一番大事！間違えた問題はやり直し、覚えるべき言葉は何回も書いてみる！そして翌日もう一回やってみるのも◎
- 「できるようになったか」「覚えたか」を気にして進めること。
- 「見るだけ」「読むだけ」では力になりません！「読む・書く・考える・解く」すべてが必要です！
- 入試は、中学校の学習範囲がまんべんなく出題されます。中1・中2の復習にも時間をかけましょう。
- 塾の宿題は最優先で進めること！（担当の先生が「あなたにとって最優先で身につけるべきこと」を考えて出しています）
- 「たぶんできる」というレベルで満足したら、テストでは「できない」可能性が高いです。「絶対に・間違いなくできる」レベルになるまで繰り返すこと。試験終了後「あとから見直したらできた」は入試においては意味がありません。なので、普段から「絶対にできる」ようにしておくことが必要です。

【 数 学 】

- やり方（ルール）がわかったら、確実にできるまで繰り返す。また、間違えていた時に「ミスだから」で片づけないこと！ルールそのものが抜けている場合もあります。また、単純なミスだった場合は、「どうすればそのミスを防げたか」まで考えましょう。※ミスには必ず原因があります。原因があるということは防ぐ方法もあります。
- 数学は出題パターンがある程度決まっています。「この形が苦手」とわかったらそのパターンを徹底的にやりこみましょう（数問やってわかった気になっただけでは、自分の力ではできるようになっていません）。
- 暗算は基本的に使わないこと。「書くの面倒だし、このくらいなら暗算で考えられる」と頭の中だけで考えると逆に時間がかかってしまうことがほとんどです。しかも間違いやすくなりますよね。「暗算で正解したら点数10倍！！」とかならいいのですが、暗算で正解しても点数は同じ…。なら確実に取った方がいいですよ。また、不思議なことに数学が苦手な生徒さんの方が、暗算を使って間違えています。確実に得点する生徒さんは、途中式の書き方などもしっかりしている子が多いです。

（数学が得意な生徒さんへ）

- 数学に限らないことですが、学校のテストや入試では問題数がかなり多くなります。数学が得意、ということは難易度が高めの問題でも得点が期待できます！しかし、問題数の多さに気持ちが焦り、基礎的な問題（正答率が7割を超えるような問題）で間違ってしまう…ということがよくあります。まさに「後から見直したらできる問題」基礎的な問題も、難しめの問題も1問2点～3点です。難しめの問題で3点取っても、基礎的な問題で3点落としていたら意味がないです。また、基礎的な問題を「早く・正確に」できるようにすることで難易度の高い問題に使える時間が増えます。なので、普段から基礎的な問題も練習してほしいと思います（目安とすれば、基礎：応用＝2：8くらい）。

（数学が苦手な生徒さんへ）

- 数学で点数を取るために、優先して勉強する順番があります。
 - ①1年生から3年生の計算→ミスなく解くために途中式もしっかりと書くこと
 - ②角度（平行線、多角形など）→錯角・同位角などのルールを使えば確実に得点しやすい
 - ③空間図形（体積・表面積）→公式を覚えて練習していけばやりやすい。球の公式もチェック！
 - ④確率→樹形図が書ければ得点源にできる！まずはこの4つを進めてみましょう。関数や図形の証明は、この4つができるようになってからでOK！
- 入試の数学では、問1（各単元の基本）だけで30点分出題されます。また、問2や問3でも基礎的な問題が1～2問は出るので、そこでいかに点数を取るのかが重要です。「絶対にできる！」問題を確実に増やせるようにたくさん練習しましょう。特に計算問題は1日10問～20問は練習すること！！

【 英 語 】

- 英語は、最終的には「長文が読めるかどうか」「英作文が書けるかどうか」が大事になります。この2つができるようになるために必要なことは・・・
→「中学校1～3年までの単語を覚える」「中学校1～3年までの文法を使えるようにする」「中学1～3年までの表現を覚える」。これらを見捨てて読解練習や英作文の練習だけをしては力になりません。
- 英語を勉強するときは「日本語訳」を必ず考えましょう。私たちが、英語を英語のまま理解するのは実は非常にハード

ルの高いことなのです。英語→日本語→英語とワンクッション置くことで力が付きやすくなります（英語が苦手な生徒さんのほとんどが、英語を英語のまま考えています）

（英語が得意な生徒さんへ）

- 「英語が得意」ということは単語や文法がしっかり整理されているのだと思います！であれば、次は読解や英作文に挑戦してみましょう。読解は、はじめは時間がかかると思います。ですが練習をすることで少しずつスピードはつきます。また、1・2年生の文法事項がOKでも3年生の文法に穴がないよう、3年生の文法も練習をしておきましょうね。

（英語が苦手な生徒さんへ）

- とにかく単語を一つずつ覚えましょう。いきなり書けるようにするのは大変なので、「意味が分かる」単語を増やすこと！→問題を解くときは、英文をひとつずつ訳しながら進めましょう。訳す癖がつくと、単語力も付きますし、文法の理解もしやすくなります。なので、単語を覚えるときは、「単語練習」より「英文」で書き取りしたほうが有効です。
- 読解問題に挑戦する場合は「会話表現」から進めるとやりやすいです。（道案内とか、買い物・電話の会話とか）
- 英語は「言語」です。ただ書くだけより「音読」をすると力が付きやすくなります。

【 国 語 】

- 「どうやって勉強したらいいのかわからない…」と感じている生徒さんが多い科目です。漢字や文法、古典はまだ勉強しやいですが、説明文や文学的文章になるとどうすればいいのかわからない人が多いようです。→基本的にはほかの科目と同じです。①問題を解く ②答え合わせをする ③「なぜそうなるのかを考える」国語も他の科目同様、「答えはひとつ」です。「答えがひとつ」ということは「なぜそれが答えなのか」明確な根拠があります。そこまで見直すことで力が付きます（ただ読むだけでは国語の力はつきません）。

（国語が得意な生徒さんへ）

- 「国語が得意」すばらしいです！！ただ、注意してください。「国語はいきなり下がる可能性のある科目」です。「いままでは特に何もなくても点数が取れていたのに、いきなりとれなくなった！」過去にもそんな生徒さんはいました。なにが足りなかったのでしょうか。→上述した「なぜそうなるのか」をきちんと考えていなかった人は下がりやすくなります。

なので、普段から「なぜ」を考えて読んでいくようにしてください。

（国語が苦手な生徒さんへ）

- まず、漢字は毎日しっかり練習をしましょう（表面参照）。読解は、1文1文しっかり読みましょう（当たり前ですが、これができていない人が意外と多いです）。英語同様、練習するときは音読してみるのもおススメ！そして読みながら書いてある内容をイメージしましょう。何を言っているのかちゃんとイメージ出来たら、内容が分かったことになります。そのうえで問題に答えましょう。→間違っていた問題は「なぜ」まで考えること！

【 理 科 】

（理科が得意な生徒さんへ）

- 数学同様です。学校のテストや入試では問題数がかなり多くなります。理科が得意、ということは難易度が高めの問題でも得点が期待できます！しかし、問題数の多さに気持ちが焦り、基礎的な問題（正答率が7割を超えるような問題）で間違ってしまう…ということがよくあります。基礎的な問題も、難しめの問題も1問2点～3点です。難しめの問題で3点取っても、簡単な問題で3点落としていたら意味がないです。また、基礎的な問題を「早く・正確に」できるようにすることで難易度の高い問題に使える時間が増えます。なので、普段から基本的な問題も練習をしてほしいと思います（目安とすれば、基礎：応用＝2：8くらい）。

（理科が苦手な生徒さんへ）

- まずは暗記すべき語句を徹底的に反復練習！語句の意味もちゃんと理解しないと点数になりません。重要語句は、意味を理解し、漢字で書けるようにしましょう。
- 実験問題もよく出てきます。実験の内容・結果をしっかり復習しましょう。（丸暗記しちゃおう）
- 優先すべき単元は、①植物 ②動物 ③大地 ④天気です。計算が入るところは後回しでOK！ですが、どの分野からもまんべんなく出題されるので、すべての単元の基本語句を復習しましょう！

【 社 会 】※スペースの都合でここになってしまいました…

- 社会は「地理・歴史・公民」の3つからできています。
- 地理は地図や資料の読み取りが必須なので、必ずそれらを確認しながら進めましょう。
- 歴史は「どの時代」なのかを意識して語句を覚えましょう。
- 語句は必ず漢字で書けるようにしましょう。→書いて練習すること

さあ、いまからがんばりましょう！！

